

専門基礎分野	科目名：解剖生理学Ⅰ (人体の構造・生命維持機能)	赤石 隆夫	1単位 30時間 (1年次前期)	
学習目標	1. 身体の構造と機能を細胞レベルで学び、その成長段階と人体の生命維持機能および生殖機能を理解する。			
回数	主題	講師	主な学習内容	
1	身体の構造と成長発達	赤石	1. 身体の構造と成長発達 1) 身体の基本単位 2) 物流機構 3) 防御機構 4) 調節機構	
2	細胞と組織		2. 細胞と組織 1) 細胞の構造 2) 遺伝情報 3) エネルギー代謝	
3				
4	血液の成分と機能		3. 血液の成分と機能 1) 血液の働き (1) 血液の組成と機能 (2) 赤血球 (3) 白血球 (4) 血小板 (5) 血漿タンパク 2) 止血機構 (血液の凝固機能) 3) 血液型	
5				
6	間質液・リンパ・体液・電解質		4. 間質液・リンパ・体液・電解質 1) 間質液とリンパの機能 2) 細胞外液の調節	
7				
8	皮膚と粘膜		5. 皮膚と粘膜 1) 皮膚の構造と機能 2) 皮膚の附属器 (毛・爪・皮膚腺) 3) 人体内部の膜 (漿膜・粘膜)	
9	生体の防御機構		6. 生体の防御機構 1) 非特異的防御機構 2) 特異的防御機構 (免疫系)	
10	生命の維持		7. 生命の維持 1) 体液と電解質の機能 2) ホメオスタシス 3) 体温とその調節 (体熱の産生・放散)	
11				
12	生命の発生および生殖器の構造と機能		8. 生命の発生および生殖器の構造と機能 1) 生殖子形成 2) 受精と胎児の発生 3) 生殖器系 (1) 生殖器の発達 (2) 男性生殖器と男性ホルモン (3) 女性生殖器 卵巣 卵管、子宮、膣 外陰会陰 (4) 性周期と妊娠の過程 受精と妊娠 4) 胎盤と臍帯 5) 外形の発生	
13				
14	人間の死		9. 人間の死 1) 死の三徴候 2) 脳死 3) 死後硬直	
15	終講試験	赤石	筆記試験	
履修上の留意点		1. 配布資料は全て持参 2. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考文献		1) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院 1) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [2] 病態生理学 医学書院		
評価方法		1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名：解剖生理学II (骨筋・循環器・呼吸器系)	津吉 秀樹（医師） 佐藤 浩一（医師）	1単位30時間 (1年次前期)
学習目標	1. 骨筋系の解剖・生理について理解する。 2. 循環器系の解剖・生理について理解する。 3. 呼吸器系の解剖・生理について理解する。		
回数	主題	講師	主な学習内容
1	人体の骨格とは	津吉	1.骨の機能と構造 1)骨の形態と構造、機能 2)骨の組織と組成 3)骨の発生と成長 2.骨の連結 1)関節の構造 2)関節の形状と可動性 3.骨格筋について 1)骨格筋の構造 2)骨格筋の作用
2	体幹と上肢の骨格と筋について	津吉	1.体幹の骨格と筋 1)脊柱、胸郭 2)背部・胸部・腹部の筋 2.上肢の骨格と筋 1)上肢帯の骨格と筋 2)自由上肢の骨格 3)上腕・前腕の筋 4)上肢の運動
3	下肢と頭頸部の骨格と筋について	津吉	1.下肢の骨格と筋 1)下肢帯と骨盤 2)自由下肢の骨格 3)下肢帯、大腿、下肢の筋群 4)下肢の運動 2.頭頸部の骨格と筋 1)神経頭蓋、内臓頭蓋 2)頭部・頸部の筋
4	筋の収縮について	津吉	1.筋の収縮機構 1)骨格筋収縮のメカニズム 2)骨格筋収縮の種 3)不随意筋の収縮の特徴
5	心臓の構造について	佐藤	1.心臓の位置 2.心臓の4つの部屋と4つの弁 3.心臓壁 4.心臓の血管と神経 1)冠状血管系
6	心臓の拍出機能	佐藤	1.心臓の興奮とその伝播 2.心電図 3.心臓の収縮
7	末梢循環系構造	佐藤	1.血管の構造 2.肺循環の血管 3.体循環の動脈と静脈
8	血液の循環の調節について	佐藤	1.血圧 2.血液の循環 3.血圧・血流量の調節 4.微小循環 5.循環器系の病態生理 1)チアノーゼ 2)起立性低血圧 3)うつ血性心不全 4)急性心不全 5)高血圧 6.リンパ管の構造
9			
10	呼吸器の構造について	高原	1.上気道 1)鼻 2)咽頭 3)喉頭 2.下気道と肺 1)気管・気管支 2)肺 3.胸膜
11	呼吸器系の生理について	高原	1.内呼吸と外呼吸 2.呼吸器と呼吸運動 1)気道、肺胞の機能 2)呼吸のメカニズム 3.呼吸気量
12		高原	4.ガス交換とガスの運搬
13		高原	5.肺の循環と血流
14		高原	6.呼吸運動の調節 7.呼吸器系の病態生理
15	終講試験		筆記試験
履修上の留意点		1. 常にテキストは持参すること。 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院	
評価方法		1. 筆記試験	

専門基礎分野		科目名：解剖生理学III (消化器、腎泌尿器、内分泌系)		藍澤 喜久雄（医師） 竹口 文博（医師） 関谷 伸一（医師）	1単位 30時間 (1年次前期)				
学習目標		1. 腎泌尿器系の解剖・生理について理解する。 2. 消化器系の解剖・生理について理解する。 3. 内分泌系の解剖・生理について理解する。							
回数	主題	講師	主な学習内容			授業形態			
1	腎臓・泌尿器の構造と機能と尿生成	竹口	1. 腎臓・泌尿器の構造と機能 1)腎臓の構造と機能 尿生成機能 2. 糸球体・尿細管の構造と機能 1)傍糸球体装置の構造と機能 2)糸球体濾過・再吸収 3)腎臓から分泌される生理活性物質 4)抗利尿ホルモン作用 3. 排尿路 尿管・膀胱・尿道の構造と機能			講義			
2	尿貯蔵と排尿の機序	竹口	1. 膀胱の神経支配と畜尿反射と排尿反射のメカニズム 1)蓄尿・排尿・骨盤底筋群の役割			講義			
3	体液量の調節	竹口	1. 血液成分の調節の機序 1)水分出納・脱水 2)電解質平衡 3)酸塩基平衡			講義			
4	男性生殖器の構造と機能	竹口	1. 男性生殖器の機能と構造 1)精巣と精路 2)精子形成 3)精巣上体、精管、精嚢、前立腺、陰茎 2. 男性の生殖機能			講義			
5	自律神経による調節	関谷	1. 自律神経の機能 2. 自律神経の構造 3. 自律神経の神経伝達物質と受容体			講義			
6	内分泌による調節	関谷	1. 内分泌とホルモン 2. ホルモンの化学構造と作用機序			講義			
7	全身の内分泌腺と内分泌細胞	関谷	1. 視床下部と下垂体系 2. 甲状腺と副甲状腺 3. 脾臓 4. 副腎 5. 性腺			講義			
8	ホルモン分泌の調節と調節の実際	関谷	1. 神経性調節 2. 物質の血中濃度による自己調節 3. 促進・抑制ホルモンによる調節 4. 負のフィードバック 5. 正のフィードバック			講義			
9		関谷	1. 糖代謝の調節 2. カルシウム代謝の調節 3. 乳房の発達と乳汁分泌 4. 高血压 ストレス			講義			
10	消化器系の機能	藍澤	1. 消化管の発生 2. 食欲の調節機構 3. 食物の摂食・咀嚼・嚥下・消化・吸収・排泄過程の概要 摂食・咀嚼・嚥下・消化・吸収・排泄の過程			講義			
11	口・咽頭・食道の構造と機能	藍澤	1. 歯・口腔・唾液腺の構造と生理機能 2. 咽頭・喉頭と食道の構造と生理機能			講義			
12	腹部消化管の構造と機能	藍澤	1. 胃の構造と生理機能 2. 小腸 十二指腸・空腸・回腸・結腸・虫垂の構造と生理機能 3. 大腸・肛門の構造と生理機能 4. 三大栄養素の消化と吸収			講義			
13	脾臓・肝臓・胆嚢の構造と機能	藍澤	1. 肝臓の構造と生理機能 2. 胆嚢の構造と生理機能 3. 脾臓の構造と生理機能			講義			
14	腹膜	藍澤	1. 腹膜と腸間膜 2. 腹膜と内臓の位置関係 3. 胃の周辺の間膜			講義			
15	終講試験		筆記試験			試験			
履修上の留意点		1. 配布資料は全て持参 2. 学習形態はその都度指示							
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座専門基礎分野人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院							
評価方法		1. 筆記試験							

専門基礎分野		科目名：解剖生理学IV (脳神経・感覺器系)		小出 伸 (医師) 小出 貞悟 (医師) 米持 洋介 (医師) 大田 健太郎 (医師) 三浦 (医師)	1単位 30時間 (1年次前期)		
学習目標		1. 脳神経系の解剖・生理について理解する。 2. 感覚器系の解剖・生理について理解する。					
回数	主題	講師名	主な学習内容		授業形態		
1	神経系の構造と機能	小出伸	1) 神経細胞と支持細胞 2) ニューロンでの興奮の伝導 3) シナプスでの興奮の伝導 4) 神経系の構造		講義		
2	脳と脊髄	小出眞	1) 脳・脊髄の構造と機能				
3							
4							
5	脊髄神経と脳神経	小出伸	1) 脊髄神経・脳神経の構造と機能		講義		
6	運動機能と下口伝導路	三浦	1) 運動ニューロン 2) 下口(遠心)伝導路		講義		
7	感覚機能と上行伝導路	三浦	1) 感覚の種類 2) 感覚の性質 3) 体性感覚の受容器の種類 4) 皮膚の感覚受容器の分布 5) 上行(求心)伝導路		講義		
8	触覚・痛覚・疼痛		1) 痛み(痛覚)の分類 体性痛(触覚・圧覚・冷覚・温覚・運動感覚・位置感覚・痛覚) 内臓痛(内臓痛・臓器感覚) 2) 疼痛の発生機序		講義		
9	脳の高次機能	米持	1) 脳波と睡眠 2) 記憶 3) 本能行動と情緒行動 4) 内蔵調節機能 5) 中枢神経系の障害		講義		
10							
11							
12							
13	眼の構造と視覚	大田	1. 視覚・色覚 1) 眼球の構造 2) 眼球付属器 3) 視覚		講義		
14	耳の構造と聴覚・平衡覚 味覚と嗅覚		2. 聴覚・平衡感覚 1) 耳の構造 2) 聴覚 3) 平衡覚 3. 味覚・嗅覚 1) 味覚器と味覚 2) 臭覚器と臭覚				
15	終講試験		筆記試験		試験		
履修上の留意点		1. テキストは常に持参すること。 2. 配付資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示					
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院					
評価方法		1. 筆記試験					

専門基礎分野		科目名：疾病と治療 (総論)		中島 孝（医師） 小澤 哲夫（医師） 後藤 正志（医師） 米持 洋介（医師） 佐藤 浩一（医師） 會田 泉（医師） 大田 健太郎（医師） 金谷 洋（医師） 加藤 融（放射線技師）	1単位 30時間 (1年次前期)						
学習目標		1. 健康から疾病に至る変化の過程を日常生活との関連で理解する。 2 さまざま疾病がもたらす身体内部の変化を理解する。 3 共通する治療方法について理解する。									
回数	主題	講師名	主な学習内容		授業形態						
1	疾病の成り立ち 病気の要因	中島	1)病理学とは 2)病気の要因 ①内因 ②外因		講義						
2	細胞・組織の障害と 修復		1)細胞の損傷と適応 2)細胞の修復と損傷治癒		講義						
	老化と死	會田	1)個体の老化と老年症候群 2)加齢に伴う諸臓器の変化 3)個体の死と終末期医療		講義						
3	循環障害	佐藤	1)循環器系の概要 2)浮腫 3)充血とうつ血 4)出血 5)血栓症 6)塞栓症 7)虚血と梗塞 8)側副循環による障害 9)ショック 10)高血圧症 11)DIC		講義						
4	免疫異常 炎症と免疫		1)炎症とその分類 2)免疫と免疫不全 3)アレルギーと自己免疫疾患		講義						
5	感染	後藤	1)感染と宿主の防御機構 2)主な病原体と感染症 3)感染症の治療と予防		講義						
6	内分泌代謝障害		1)脂質代謝障害 2)タンパク質代謝障害 3)糖尿病 4)その他の代謝障害		講義						
7	先天異常と遺伝子 異常	小澤	1)遺伝子の生物学 2)先天異常 3)遺伝子の異常と疾患 4)先天異常・遺伝子異常の診断と治療		講義						
8	腫瘍 外科的治療と麻酔		1)腫瘍の定義と分類 2)悪性腫瘍の広がりと影響 3)腫瘍の発生病理 4)腫瘍の診断と治療 5)腫瘍の統計		講義						
9	金谷	1)手術療法と麻酔		講義							
10											
11	緩和ケア	金谷	緩和ケア		講義						
12	移植再生医療	金谷	1)移植と再生医療		講義						
13	リハビリテーション医療	會田	1)リハビリテーション概論								
14	放射線療法	加藤	1)放射線医学とは 2)放射線治療の基礎		講義						
15	終講試験		筆記試験		試験						
履修上の留意点		11・12回目「臨床放射線医学」、13回～「臨床外科総論」、他「病理学」のテキスト									
1) テキスト	1) 系統看護学講座専門基礎 医学書院 : 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 病理学 : 別巻 臨床外科看護総論 : 臨床放射線医学 : リハビリテーション看護										
2) 参考書	2) 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学										
評価方法	1. 筆記試験										

専門基礎分野		科目名：疾病と治療Ⅰ (中枢神経・感覚機能障害と治療)	池田 哲彦（医師）　會田泉（医師） 金山 武史（医師）　大田健太郎（医師）	1単位 30時間 (1年次後期)
学習目標		1. 中枢神経機能の障害と治療について理解する。 2. 末梢神経機能・自律神経機能障害と治療について理解する。 3. 感覚機能の障害と治療について理解する。		
回数	主 題		学習内容	授業形態
1	脳・神経疾患 と治療	池田	1. 脳疾患 1) 脳血管障害 2) 脳腫瘍 3) 頭部外傷 4) 脳脊髄液の異常	講義
2				
3	脊髄疾患	金山	2. 脊髄疾患	講義
4	末梢神経障 害	金山	3. 末梢神経障害 1) 糖尿病性ニューロパシー 2) アルコール性ニューロパシー 3) ギラン・バレー症候群 4) 顔面神経麻痺	講義
5	筋疾患・神 経接合部疾 患	金山	4. 筋疾患・神経接合部疾患 1) 筋ジストロフィー 2) 多発性筋炎・皮膚筋炎 3) 重症筋無力症	講義
6				
7				
8	脱髓・変性 疾患	會田	5. 脱髓・変性疾患 1) 脱髓疾患（多発性硬化症） 2) 脳・神経変性（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症）	講義
9				
10	脳・神経系の 感染症 中毒 てんかん 内科疾患に伴 う神経障害	池田	6. 脳・神経系の感染症 1) 髴膜炎 2) 脳炎 3) クロイツフェルト一ヤコブ病 4) 神経梅毒 5) 破傷風 6) HTLV-1 関連脊髄症 7. 中毒 8. てんかん 9. 内科疾患に伴う神経障害 1) 自律神経失調症	講義
11				
12				
13	感覚機能障害 と治療	大田	10. 認知症 1) アルツハイマー病 2) 血管性認知症 3) レビー小体型認知症	講義
14			1. 眼科疾患 1) 視覚障害（白内障・緑内障・網膜剥離・網膜症）	講義
15	終講試験		2. 耳鼻咽喉疾患 1) 聴覚障害（難聴・メニエール病） 2) 嗅覚・味覚障害 3) 炎症性疾患（咽頭炎・喉頭炎） 4) 腫瘍（舌がん・咽頭がん）	試験
履修上の留意点		1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[13] 眼 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14] 耳鼻咽喉 医学書院 2) 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学		
評価方法		1. 筆記試験		

専門基礎分野		科目名：疾病と治療Ⅱ (呼吸・循環・造血機能障害と治療)		高原 誠（医師） 佐藤 浩一（医師） 小澤 哲夫（医師）	1単位30時間 (1年次後期)		
学習目標		1. 呼吸機能の障害と治療について理解する。 2. 循環機能の障害と治療について理解する。 3. 造血機能の障害と治療について理解する。					
回数	主題	講師名	主な学習内容		授業形態		
1	呼吸器系の症状とその病態生理	高原	1. 自覚症状・他覚症状 1)喀痰 2)血痰・喀血 3)咳嗽 4)胸痛 5)呼吸困難 6)チアノーゼ 7)ばち指 8)発熱 9)呼吸の異常 10)意識障害		講義		
2	検査・診断	高原	1. 検査 1)血液検査 2)喀痰検査 3)胸水検査 4)画像診断 5)内視鏡検査 6)生検 7)呼吸機能検査 8)睡眠時呼吸モニタリング		講義		
3	治療処置	高原	2. 治療・処置 1)吸入療法 2)酸素療法 3)人工呼吸療法 4)呼吸理学療法 5)気道確保 6)胸腔ドレナージ 7)呼吸器外科手術		講義		
4	呼吸器疾患の理解	高原	1. 感染症 1)急性気管支炎 2)インフルエンザ 3)肺炎 4)肺結核 2. 間質性肺疾患 1)気道疾患 2)気管支喘息 3)慢性閉塞性肺疾患 3. 肺血栓/塞栓症 4. 呼吸不全 5. 肺腫瘍 6. 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患		講義		
5			1)胸膜炎 2)自然気胸 3)腫瘍 4)吃逆 5)横隔膜ヘルニア		講義		
6	循環器系の症状とその病態と診断・治療	佐藤	病態と診断治療 1. 胸痛 2. 動悸 3. 呼吸困難 4. 浮腫 5. チアノーゼ 6. めまい・失神 7. 四肢の疼痛 8. ショック 10. 高血圧		講義		
7	検査・診断	佐藤	1. 検査 1)心電図 2)胸部X線 3)心エコー 4)心臓カテーテル法 5)血行動態モニタリング 6)CT・MRI		講義		
8	治療	佐藤	2. 治療 1)内科的治療 2)外科的治療 3)補助循環装置		講義		
9	循環器疾患の理解	佐藤	1. 虚血性心疾患 2. 心不全/心タンポナーデ 3. 血圧異常 4. 不整脈 5. 弁膜症 6. 炎症性疾患（心内膜炎・心筋炎） 7. 心筋症 8. 先天性心疾患 9. 動脈系疾患（大動脈瘤・解離、ASO） 10. 静脈系疾患（下肢静脈瘤・DVT）		講義		
10							
11	造血器系の症状とその病態生理		1. 身体所見 1)貧血 2)発熱 3)リンパ節腫脹・脾腫 4)出血傾向		講義		
12	検査・診断		2. 検査 1)末梢血検査 2)骨髄穿刺・骨髄生検 3)出血傾向の検査		講義		
13	造血器疾患と治療の理解		3. 症候とその病態生理 1)赤血球系の異常 貧血（鉄欠乏性貧血 巨赤芽球性貧血 溶血性貧血 骨髄異形成症候群 二次性貧血） 2)白血球系の異常 白血球増加症 無顆粒球症 白血球減少症 3)血小板系の異常 出血性疾患 DIC 4)腫瘍 造血器腫瘍		講義		
14					講義		
15	終講試験		筆記試験		試験		
履修上の留意点		1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態はその都度指示					
1) テキスト 2) 参考書		1) 統看護学講座 専門分野II 成人看護学 [2] 呼吸器 医学書院 1) 統看護学講座 専門分野II 成人看護学 [3] 循環器 医学書院 1) 統看護学講座 専門分野II 成人看護学 [4] 血液・造血器 医学書院 2) 統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学					
評価方法		筆記試験					

専門基礎分野	科目名：疾病と治療III (吸収・代謝・排泄機能障害と治療)	三吉 政道（医師） 竹口 文博（医師） 羽入 修吾（医師）	1単位 30時間 (1年次後期)
学習目標	1. 栄養摂取（食）と治療について理解する。 2. 肝機能・糖代謝の障害、脂質・尿酸代謝の障害と治療について理解する。 3. 腎機能障害・排泄機能の障害と治療について理解する。		
回数	主題	講師名	主な学習内容
1	消化器系の症状と病態生理	三吉	1. 嘔下障害 2. 吐き気・嘔吐 3. 腹痛 4. 吐血・下血 5. 下痢・便秘 6. 腹部膨満 7. 食欲不振と体重減少 8. 腹水 9. 黄疸 10. 意識障害
2	消化器系の検査	三吉	1. 粪便検査 2. 肝機能検査 3. 栄養状態アセスメント 4. 脾外分泌機能検査 5. 内視鏡検査 6. 肝生検
3	消化管の機能障害と治療	三吉	1. 消化管の炎症 1) 胃炎・十二指腸潰瘍・クローン病・虫垂炎、腹膜炎 2) 消化管の腫瘍 胃がん・腸管ポリープ・ポリポーシス・結腸がん・直腸がん 3) 食道・胃静脈瘤 4) イレウス
4			
5			
6	肝臓・胆嚢・脾臓の機能障害と治療	三吉	1. 肝臓・胆嚢・脾臓の炎症 ウイルス性肝炎・劇症肝炎・慢性肝炎・肝硬変 アルコール性肝障害・胆囊炎・胆管炎・脾炎
7			2. 肝臓・胆嚢・脾臓の腫瘍 肝臓がん・胆管がん・胆囊がん・脾がん 3. 胆汁代謝・排泄の障害
8	腎泌尿器の症状とその病態生理と検査	竹口	1. 尿検査 2. 分泌物検査 3. 腎機能検査 4. 画像検査 超音波検査・XP・CT・MRI・腎シンチ・逆行性腎盂造影・膀胱造影・尿道造影・血管造影 5. 経尿道的操作および内視鏡検査 6. 尿流動態検査 7. 生検
9	腎疾患の診断と治療	竹口	1. 腎炎・慢性腎臓病 2. ネフローゼ症候群 3. 炎症性疾患 腎孟腎炎・糸球体腎炎・膀胱炎
10		竹口	4. 全身性疾患による腎障害 糖尿病性腎症 腎原病などによる腎障害 アミロイド腎症
11			5. 腎不全と透析療法
12	腎泌尿器の症状とその病態生理と検査	羽入	1. 症状とその病態生理と治療 1) 尿の異常 2) 畜尿・排尿障害の症状 3) 浮腫 4) 脱水 5) 循環器系の異常による腎障害 6) 血液の異常による腎障害 7) 尿毒症 8) 人工透析、腎移植
13	泌尿器・男性生殖器の症状と病態生理と検査	羽入	2. 腎・尿路の通過障害と治療  1) 前立腺肥大症 2) 尿路結石・腎結石・膀胱結石 3. 腎臓・尿路の腫瘍と手術療法、放射線療法、抗がん剤・免疫療法 1) 腎がん・ウイルムス腫瘍・尿管がん・膀胱がん
14	泌尿器・男性生殖器の診断・治療		4. 男性生殖器の疾病と治療 1) 前立腺肥大症 2) 前立腺がん 3) 男性性機能障害 5. 尿路・性器の感染症疾患と治療 6. 発生・発育異常、男性不妊症、男性性機能障害
15	終講試験		筆記試験
履修上の留意点	1. 配布資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト	1) 系統看護学講座 専門分野II 成人看護学〔5〕消化器 医学書院 1) 系統看護学講座 専門分野II 成人看護学〔6〕内分泌・代謝 医学書院		
2) 参考書	1) 系統看護学講座 専門分野II 成人看護学〔8〕腎・泌尿器 医学書院 2) 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進〔2〕 病態生理学		
評価方法	1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名：疾病と治療IV (内部環境・生体防御と治療)	小澤 哲夫 (医師) 藤中 秀彦 (医師) 後藤 正志 (医師)	1 単位 30 時間 (1 年次後期)	
学習目標	1. 内分泌・代謝機能の障害と治療について理解する。 2. 体液調節機能の障害と治療について理解する。 3. 生体防御機能障害と治療について理解する。			
回数	主題	講師名	主な学習内容	講義形態
1	1. 内分泌機能の障害と治療	小澤	1) 間脳・視床下部一下垂体前葉系疾患 間脳・視床下部一下垂体後葉系疾患	講義
2		小澤	2) 甲状腺疾患 機能亢進症・機能低下症・甲状腺炎 3) 副甲状腺・上皮小体疾患	講義
3		小澤	4) 副腎皮質・副腎髓質疾患	講義
4		小澤	5) 腎臓・代謝障害による疾患	講義
5		小澤	6) 腫瘍 下垂体腫瘍・甲状腺癌	講義
6	2. 脂質・尿酸代謝の障害と治療	小澤	1) メタボリックシンドローム、肥満症 2) 糖尿病	講義
7		小澤	3) 脂質異常症 4) 痛風 5) ビタミン欠乏症	講義
8	3. 体液調節機能の障害と治療	藤中	1) 水・電解質の異常 2) 酸塩基平衡の異常	講義
9	4. 自己免疫疾患と治療	藤中	1) 全身性エリテマトーデス 2) 関節リウマチ 3) シェーングレン病	講義
10		藤中	1) アレルギー性鼻炎 2) アトピー性皮膚炎 3) 莖麻疹 4) 接触性皮膚炎 5) アナフィラキシーショック	講義
11	5. アレルギー疾患と治療	藤中	1) 皮膚の構造と機能 2) 発疹 3) 表在性皮膚炎 4) 皮膚腫瘍 5) 感染症 6) その他の皮膚疾患	講義
12	6. 皮膚とその付属器及び粘膜の障害と治療	藤中	1) 皮膚の構造と機能 2) 発疹 3) 表在性皮膚炎 4) 皮膚腫瘍 5) 感染症 6) その他の皮膚疾患	講義
13	7. 免疫低下に関連する疾患と治療	後藤	1. 敗血症	講義
14	終講試験		筆記試験	試験
履修上の留意点	1. テキストは必ず持参すること。 1-7回「内分泌・代謝」、「腎・泌尿器」、8-14回「アレルギー・膠原病・感染症」、「皮膚」 2. 配付資料はすべて持参すること 3. 学習形態はその都度指示する			
1) テキスト 2) 参考書	1) 統一看護学講座 専門分野II 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝 医学書院 1) 統一看護学講座 専門分野II 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器 医学書院 1) 統一看護学講座 専門分野II 成人看護学〔11〕 アレルギー・膠原病・感染症 医学書院 1) 統一看護学講座 専門分野II 成人看護学〔12〕 皮膚 医学書院 2) 統一看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進〔2〕 病態生理学			
評価方法	1. 筆記試験			

専門基礎分野	科目名：疾病と治療V (運動機能障害と治療)	津吉 秀樹（医師）	1単位 15時間 (1年次後期)
学習目標	1. 運動機能の障害と治療について理解する。		
回数	主題	講師名	主な学習内容
1	症状とその病態生理		1) 姿勢機能障害 2) 移動機能障害 3) 作業機能障害 4) 生命生活への影響
2	検査・処置		1) 関節可動域検査 2) 徒手筋力テスト 3) 画像検査（脊髄造影、椎間板造影） 4) 膝関節鏡 5) 筋生検
3	治療		1) 保存療法 ギプス固定 牽引法 2) 手術療法 3) リハビリテーション医療（理学療法・作業療法） 4) 義肢・装具
4			
5	骨・関節の疾患の病態と診断、治療	津吉	1. 外傷性疾患と治療 1) 骨折、脱臼、捻挫および打撲 2) 神経損傷 脊髄損傷・末梢神経損傷 3) 筋肉・腱損傷 アキレス腱断裂・コントラルト症候群 2. 内因性疾患と治療 1) 骨粗鬆症 2) 炎症性疾患（骨・骨髄炎、関節炎） 3) 骨腫瘍および軟部腫瘍（骨肉腫） 4) 関節の変性疾患（変形性関節症） 5) 脊椎疾患（腰痛症、椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症） 6) 特発性大腿骨骨頭壊死、大腿骨すべり症 7) ロコモティブシンドローム、フレイル、サルコペニア 廃用症候群
6			
7			
8	終講試験		筆記試験（45分）
履修上の留意点		1. テキストは常に持参する。 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学 [10] 運動器 医学書院 2) 系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学 2) 医学書院 リハビリテーション看護	
評価方法		1. 筆記試験	

専門基礎分野	科目名：疾病と治療VI (生殖機能障害と治療)		相田 浩 (医師) 金谷 洋 (医師)	1単位 15時間 (1年次後期)	
学習目標	1. 女性生殖機能の障害と治療について理解する。				
回数	主題	講師名	主な学習内容	授業形態	
1	症状とその病態 生理と診察・検査と検査	相田	女性生殖器疾患の看護を学ぶにあたって 1. 医療の動向と看護 2. 患者の特徴 1)発育過程における女性生殖器の発達と疾患	講義	
2			1. 診察・検査 1)理学的検査 2)病理検査 3)細菌・ウイルス・原虫検査 4)画像検査 5)腫瘍マーカー検査 6)妊娠検査 7)内視鏡検査 8)染色体検査・遺伝子検査	講義	
			1)ショック 2)出血 3)帶下 4)疼痛 5)発熱 6)下腹部膨満・腫瘤感 7)外陰部搔痒感 8)排尿障害 9)自律神経症状、不定愁訴 10)リンパ浮腫	講義	
3	治療・処置	相田	2. 治療・処置 1)膣洗浄 2)膣タンポン 3)導尿 4)腹腔穿刺 5)ダグラス窓穿刺 6)レーザー治療 7)診察・治療器具 8)薬物療法 9)手術 10)避妊 1. 性分化疾患 1)半陰陽 2)性染色体異常	講義	
4	疾患の理解	相田	2. 臓器別疾患 1)外陰の疾患 2)膣の疾患 3)子宮の疾患 4)卵管の疾患 5)卵巣の疾患 6)骨盤内炎症性疾患 7)乳房の疾患	講義	
5			3. 機能的疾患 1)月経異常・月経随伴症状 2)更年期障害 3)不妊症 4)不育症 4. 感染症 1)性感染症 (STD) 2)性器結核	講義	
6	乳がん	金谷	腫瘍 乳がん (乳腺悪性腫瘍)	講義	
7				講義	
8	終講試験		筆記試験	試験	
履修上の留意点	1. テキストは常に持参する 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示				
1) テキスト 2) 参考書	1) 統要看護学講座 専門分野II 成人看護学[9] 女性生殖器 医学書院 1) 統要看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院 2) 統要看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学				
評価方法	1. 筆記試験				

専門基礎分野	科目名：疾病と治療VII (小児に特徴的な機能障害と治療)	富沢 修一 (医師)	1 単位 15 時間 (2 年次前期)
学習目標	1. 小児の特徴的な機能障害と治療について理解する。		
回数	主題	講師名	主な学習内容
1	先天異常、新生児・低出生体重児の疾患	富沢	1. 常染色体異常 2. 性染色体異常 3. 低出生体重児の疾患 (呼吸窮迫症候群・未熟児網膜症)
2	子どもに多い代謝性・内分系疾患 子どもに多い免疫・アレルギー疾患		1. 代謝性疾患：糖尿病 2. 内分泌疾患：1) 下垂体疾患 2) 甲状腺疾患 3) 副腎疾患 4) 性腺の異常 (性早熟症) 3. 免疫・アレルギー疾患：1) 食物アレルギー 2) 気管支喘息 3) アトピー性皮膚炎 4) 膠原病
3	子ども特有の感染症		1. ウィルス感染症：1) 麻疹 2) 風疹 3) 伝染性紅斑 4) 突発性発疹症 5) 水痘 6) 手足口病 7) 流行性耳下腺炎 8) インフルエンザ 9) 無菌性髄膜炎 2. 細菌感染症：1) 百日咳 2) 溶血性レンサ球菌感染症
4	子どもに多い呼吸器疾患		1. 上気道の疾患：1) 上気道炎 2) クループ症候群 2. 気管支・肺疾患：1) 気管支炎 2) 細気管支炎 3) 肺炎 4) マイコプラズマ肺炎
5	子どもに多い循環器疾患 子どもに多い消化器疾患		1. 先天性心疾患 1) 心室中隔欠損症 2) ファロー四徴症 2. 川崎病 3. 後天性心疾患：1) 乳幼児突然死症候群 2) 急性心筋炎 4. 消化器疾患：1) 口蓋裂 2) 腸重積症 3) 急性虫垂炎 4) 胆道閉鎖症 5) 肥厚性幽門窄症 6) ヒルシュスブルング病
6	子どもに起こりやすい血液・造血器疾患 子どもに多い悪性新生物 子どもに多い腎・泌尿器疾患		1. 貧血 2. 出血性疾患：1) 突発性血小板減少性紫斑病 2) 血友病 3. 悪性新生物：1) 白血病 2) ウィルムス腫瘍 3) 神経芽腫 4. 腎・泌尿器疾患：1) ネフローゼ症候群 2) 尿路感染症 3) 尿道下裂
7	子どもに多い神経疾患 子どもに多い運動器疾患		1. 神経疾患：1) 二分脊椎 2) 水頭症 3) てんかん 4) 熱性けいれん 5) 脳性麻痺 6) ギランバレー症候群 2. 筋疾患：筋ジストロフィー症 3. 運動器疾患：1) 骨折 2) 先天性股関節脱臼
8	終講試験		筆記試験 (45 分)
履修上の留意点		1. 常に持参のテキストは「小児臨床看護各論」 2. 配付資料はすべて持参 3. 形態はその都度指示	
1) テキスト 2) 参考書		1) 看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 2) 統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学	
評価方法		1. 筆記試験	

専門基礎分野	科目名：疾病と治療Ⅷ (精神障害と治療)		坂戸 美和子（医師）	1 単位 15 時間 (2 年次前期)
学習目標	精神の障害と治療を理解する			
回数	主題	講師名	主な学習内容	授業形態
1	精神科診断について こころの動き 心の理論	坂戸	1)精神障害とは 2)DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き 3)人格、気質、知能、意識、認知機能、感情、学習、行動、こころの理論	講義
2	統合失調症		1)統合失調症の病型 疫学 治療 2)発病と回復のプロセス	講義
3	気分〔感情〕障害 双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群		1)気分障害の歴史 2)症状 3)治療 1)恐怖症不安障害 2)強迫性障害 3)ストレス関連障害 4)解離性（転換性）障害 5)身体表現性障害	講義
4	神経症性障害 ストレス関連障害および身体表現性障害 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群		1)パニック障害 2)PTSD 3)適応障害 1)摂食障害 2)睡眠障害 (不眠症、ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群) 3)性機能不全 4) 性同一性障害	講義
5	パーソナリティ障害 精神作用物質使用による精神・行動の異常		1)パーソナリティ障害の分類 1)アルコール依存症 2)覚せい剤、大麻精神病 3)その他依存症	講義
6	器質性精神障害 認知症		1)アルツハイマー型認知症 2)血管性認知症 3)レビー小体型認知症 4)せん妄	講義
7	てんかん 神経・発達障害 薬物療法 電気けいれん療法 精神療法		1)てんかん 1)知的能力障害 2)コミュニケーション障害 3)自閉症スペクトラム障害等 1)薬物療法 2)電気けいれん療法 1)個人療法 2)集団精神療法 3)家族療法 4)認知行動療法 5)認知行動療法の実際	講義
8	終講試験		筆記試験 45 分	試験
履修上の留意点	1. 配布資料はすべて持参 2. 学習形態はその都度指示			
1) テキスト	1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学①医学書院			
評価方法	1. 筆記試験			

専門基礎分野		科目名 : 栄養学	二木 巨悦 (管理栄養士)	1 単位 30 時間 (1 年次前期)	
学習目標		栄養素の消化・吸収・代謝および生理作用について学び、人間にとっての栄養の意義および健康障害時の食事療法の基本を理解する。			
回数	主題	講師名	主な学習内容	講義形態	
1	人間栄養学と看護	二木	1. 人間栄養学 2. 保健・医療における栄養学 3. 看護と栄養	講義	
2	栄養素の種類とはたらき		1. 糖質 2. 脂質 3. タンパク質 4. ビタミン 5. ミネラル 6. 食物繊維 7. 水	講義	
3	食物の消化と栄養素の吸収・代謝		1. 食物の消化 1) 消化器系のしくみとはたらき 2) 三大栄養素の消化	講義	
4			2. 栄養素の吸収 3. 栄養素の代謝 4. 吸収・代謝物の排泄		
5	エネルギー代謝・食事と食品		1. 食品のエネルギー 2. エネルギー代謝の過程 3. エネルギー消費	講義	
6	栄養ケア・マネジメント		1. チームアプローチと栄養ケア・マネジメント 2. 栄養スクリーニング 3. 栄養アセスメント 4. 栄養ケア計画 5. 栄養ケア・マネジメントの実施と評価	講義	
7	栄養状態の評価判定		1. 食事と栄養のアセスメント 2. 栄養アセスメントの目的 3. 栄養状態の評価・判定法	講義	
8	ライフステージと栄養		1. 各期の特徴と栄養摂取及び栄養ケア・マネジメントの要点 1) 乳児期 2) 幼児期 3) 学童期 4) 思春期・青年期 5) 成人期 6) 妊娠期 7) 更年期 8) 高齢期	講義	
9					
10					
11	臨床栄養		1. チームで取り組む栄養管理 2. 栄養補給法 3. 病院食 4. 経腸栄養法 5. 経静脈栄養剤 6. 疾患・症状別食事療法	講義	
12					
13	健康づくりと食生活		1. 食生活の変遷と栄養の問題点 2. 生活習慣病予防 3. 食生活の改善への施策 4. 食の安全性と表示	講義	
14	食事摂取基準		1. 日本人の食事摂取基準 2. 策定基準 3. 主な栄養素の食事摂取基準	講義	
15	終講試験		筆記試験	試験	
履修上の留意点		1. テキスト「栄養学」の「ゼミナール」を使用する 2. DVD 教材を使用する際はスピーカーなどの準備をすること。 3. 授業中に確認テストを行う			
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 人体の構造と機能 [3] 栄養学 医学書院			
評価方法		1. 筆記試験 2. レポート			

専門基礎分野	科目名：微生物学	柳田 光利（臨床検査技師・医科学主任）	1単位 30時間 (1年次前期)	
学習目標	1. 健康をおびやかす微生物の基礎知識を理解する。 2. 感染症を起こす病原微生物について理解する。 3. 医薬品による健康障害を理解する。 4. 感染症とその変貌を理解する。			
回数	主題	講師名	主な学習内容	
1	微生物学概要 人と病原体の関わり	柳田	1. 微生物と微生物学 1) 微生物の性質 2) 微生物と人間 3) 微生物の対象と目的 4) 微生物の歩み	
2				
3	細菌の性質		1. 細菌の形態と特徴 2. 培養環境と栄養 3. 細菌の遺伝 4. 細菌の分類 5. 常在細菌	
4	真菌・原虫の性質		1. 真菌の性質 1) 真菌の形態と特徴 2) 真菌の増殖 3) 真菌の分類と命名法 4) 栄養と媒体 2. 原虫の性質 1) 特徴と基本構造 2) 病原原虫の種類	
5	ウイルスの性質		1. ウィルスの特徴 2. ウィルス構造と機能 3. ウィルスの増殖 4. ウィルスの分類	
6	感染と感染症		1. 微生物感染の機構 2. 細菌感染の機構 3. ウィルス感染の機構 4. 真菌/原虫感染の機構 5. 感染源・感染経路からみた感染症 1) 経口感染 2) 経気道感染 3) 接触感染 4) 経皮感染 5) 母子感染	
7	感染に対する生体防御反応		1. 自然免疫のしくみ 2. 獲得免疫のしくみ 3. 粘膜免疫のしくみ 4. 感染の徵候と症状	
8	感染症の検査と診断 滅菌と消毒		1. 病原体を検出する方法 2. 減菌法と消毒薬	
9	感染症の治療		1. 化学療法の基礎 2. 各種の化学療法	
10	感染症の現状と対策		1. 感染症の現状と問題点 1) 薬剤耐性・多剤耐性菌感染症 2) 新興・再興感染症 2. 感染症への対策	
11	病原微生物と感染症		1. 細菌と細菌感染症	
12			2. 真菌と真菌感染症	
13			3. ウィルスとウイルス感染症	
14			4. 原虫と原虫感染症	
15	終講試験		筆記試験	
履修上の留意点		1. 常に持参のテキストは、「微生物学」 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 (4) 微生物学 医学書院		
評価方法		1. 筆記試験		

専門基礎分野	科目名：薬理学	秋元 朝行（薬剤師）	1単位 30時間 (1年次後期)
学習目標	1. 薬理学の基礎知識を理解する。 2. 健康障害に対する薬物療法の作用機序・人体への影響について理解する。		
回数	主題	講師名	主な学習内容
1	薬理学の基礎知識	秋元	1. 薬が作用するしくみ 2. 薬物の投与経路と薬物の吸収・代謝・排泄 3. 薬効の個人差に影響する因子 4. 薬物使用の有益性と危険性 5. 医薬品に関する法律 6. 医薬品の管理
2			
3			1. 抗感染症薬 2. 抗結核薬 3. 抗真菌薬 4. 抗ウイルス薬
4			1. 抗がん薬のしくみ 2. 抗がん薬の有害作用 3. 抗がん薬各論
5			1. 免疫抑制薬 2. 免疫増強薬・予防接種薬
6			1. 抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬 2. 炎症と抗炎症薬 3. 関節リウマチ治療薬 4. 痛風・高尿酸血症治療薬
7			1. 自律神経作用薬 2. 交換神経作用薬 3. 副交感神経作用薬 4. 筋弛緩薬・局所麻酔薬
8			1. 全身麻酔薬 2. 睡眠薬・抗不安薬 3. 抗精神病薬 4. パーキンソン病症候群治療薬 5. 抗てんかん薬 6. 麻薬性鎮痛薬
9			1. 降圧薬 2. 狹心症治療薬 3. 心不全治療薬 4. 抗不整脈薬 5. 利尿薬 6. 血液凝固系・線溶系に作用する薬物
10			1. 気管支喘息薬 2. 鎮咳薬・去痰薬・呼吸促進薬 3. 消化性潰瘍治療薬 4. 健胃・消化薬と消化管運動促進薬 5. 制吐薬 6. 下剤と止痢薬 7. 女性生殖器に作用する薬物 8. 男性生殖器に作用する薬物 9. 泌尿器に作用する薬物
11			1. 糖尿病治療薬 2. 甲状腺疾患治療薬 3. 骨粗鬆症治療薬
12			1. 救急に用いられる薬物 2. 急性中毒に対する薬物 3. 消毒薬 1) 消毒薬の種類 2) 消毒薬の適用
13			1. 電解質輸液製剤 2. 栄養輸液製剤
14			3. 主な輸血用血液製剤 4. 輸血に伴う有害作用
15	終講試験		筆記試験
履修上の留意点		1. 配布資料は全て持参	
1) テキスト 2) 参考書		1) 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [3] 薬理学 医学書院 2) 治療薬マニュアル 2021	
評価方法		1. 筆記試験 2. レポート	

専門基礎分野	科目名：保健医療論	富沢 修一（医師）	1単位 15時間 (2年次前期)
学習目標	医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割を理解する。		
回数	主題	講師名	主な学習内容
1	医学・医療のあゆみ	富沢	1. 医療と看護の原点 1) 命について考える 2) QOLについて考える 3) 癒しの行為と癒しの知 2. 医療の歩みと医療観の変遷 1) 現代医療の原点 2) 我が国の医療がたどってきた道 3) 医療観のうつりかわり
2	健康と疾病		1. 健康とは 1) 健康の定義 2) 健康をどのように評価するか 2. 生活と健康 1) 救急医療と蘇生術 2) 診療所と病院 3. 疾病の一次予防と健康増進 1) 急性期疾患の治療とその限界 2) 予防医学と健康増進 4. 少子高齢化社会と世代間のきずな 1) 少子高齢化と人口減少 2) 高齢者介護をめぐる問題 5. 障害者のノーマライゼーション 6. 心の健康と精神医療
3			
4	保健・医療の担い手		1. チーム医療・チームケア 2. 災害時の医療体制 2. プライマリケア 3. 在宅医療 4. 地域包括医療システム
5	医療を見つめ直す 新しい視点		1. 患者の安全 1) インシデント・アクシデント 2) システムエラー 2. 医療の管理と評価 3. 情報化社会と医療
6	現代医療の最前線と 新たな課題		1. 現代医学と先端医療技術の最前線 1) がん診療の最前線 2) 移植医療 3) 再生医療 2. 先端医療技術がもたらす倫理上のジレンマ 1) 延命治療への疑問 2) 死の判定 3. 生命倫理学と臨床倫理学の展開 4. インフォームドコンセントと医療情報の開示
7			
8	終講時試験		単位認定試験
履修上の留意点	1. 配布資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示		
1) テキスト 2) 参考書	1) 系統看護学講座「医療概論」健康支援と社会保障制度 医学書院		
評価方法	1. 答え試験 2. レポート		

専門基礎分野		科目名：公衆衛生		武藤 謙介（医師）	2 単位 30 時間 (2 年次前期)		
学習目標		国民の健康に関する状況と生活環境を学び、人々が健康を享受するために望ましい制度や組織活動を理解するとともに医療専門職の役割を理解する。					
回数	主題	講師名	主な学習内容		講義形態		
1	健康と公衆衛生		1. 公衆衛生と健康の概念 2. 公衆衛生のあゆみ		講義		
2	疫学と保健統計		1. 疫学の概念 2. 保健統計の基本的な考え方 1) 人口動態統計 2) 死因統計 3) 疾病統計		講義		
3	公衆衛生のしくみ		1. 政策展開 1) 計画と政策の関係 2) 医療計画 2. 国と地方自治体の役割 3. 専門職種のはたらき 1) 公衆衛生における看護職のはたらき 2) 関連職種との協働 3) 住民との協働		講義		
4					講義		
5	地域保健 成人保健		1. 地域保健法と施策 2. 健康日本 21 3. 健康増進法 4. 生活習慣病対策 5. 特定健康診査・特定保健指導 6. がん対策		講義		
6					講義		
7	高齢者保健		1. 高齢化の現状と対策 2. 日本の高齢者保健に関する法制度と施策 3. 高齢者保健の課題		講義		
8	母子保健		1. 母子保健と施策 2. 出産育児にかかる制度 3. 母子保健の統計 4. 児童虐待防止のための母子保健活動		講義		
9	障害者保健と精神保健 福祉		1. 障害者の福祉施策 2. 精神保健の統計 3. 精神保健福祉法		講義		
10	食品保健		1. 健康づくりと食（健康増進法、健康日本 21 を含む） 2. 食品の安全確保の保健に関する法律 3. 食中毒		講義		
11	環境保健		1. 人間と生活環境 2. 健康問題と環境		講義		
12	感染症対策		1. 感染症法 2. 検疫法 3. 予防接種法 4. 主要感染症の動向 5. 院内感染対策		講義		
13	学校保健と産業保健		1. 学校保健 1) 学校保健安全法 2) 学校環境衛生 2. 職場の健康管理 1) 労働安全衛生法 2) 職業病の予防		講義		
14	国際保健		主な国際機関と保健活動		講義		
15	終講試験		筆記試験		試験		
履修上の留意点		1. 常に持参「公衆衛生が見える」 2. 配布資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示					
1) テキスト 2) 参考書		1) 公衆衛生が見える メディックメディア					
評価方法		1. 筆記試験					

専門基礎分野	科目名：社会福祉		渡辺 和裕 (社会福祉士・介護支援専門員)	2 単位 30 時間 (2 年次前期)	
学習目標	社会福祉と医療・社会保障の関連について理解し、対象に必要な社会資源として看護に活用する必要性を理解する。				
回数	主題	講師名	主な学習内容	講義形態	
1	社会保障の概念と機能	渡辺	1. 社会保障の定義 2. 社会保障の目的と機能	講義	
2	社会保険制度		1. 社会保険の役割と制度 2. 医療保険制度 3. 高齢者医療制度等 4. 医療提供体制と国民医療費	講義	
3			1. 介護保険制度の意義 2. 介護保険制度の枠組み 3. 認定とケアマネジメント 4. 保険給付の概要 5. 地域支援事業	講義	
4			1. 年金保険制度の分類と体系 2. 国民年金の概要 3. 厚生年金	講義	
5	介護保険制度		1. 雇用保険制度 2. 労働者災害補償保険制度	講義	
6			1. 生活保護法の基本原理と原則 2. 福祉 6 法体制と社会福祉事業法 3. 実施機関 4. 保護の実施	講義	
7			1. 高齢社会と老人福祉法 2. 高齢者福祉の動向 3. 老人福祉施策と福祉サービス	講義	
8	年金保険制度		1. 児童福祉と施策 1) 児童福祉の対象と関係法 2) 児童福祉の実施体制 3) 児童福祉施設	講義	
9			2. 障害児の福祉施策 1) 障害児福祉の概要 2) 早期発見と在宅施策 3) 施設施策と学校教育	講義	
10	労働保険制度		3. 障害者の福祉施策 1) 障害のとらえ方と障害基本法 2) 障害者総合支援法 3) 障害者総合支援法のサービス利用と内容	講義	
11	生活保護法		4. ソーシャルワークと社会福祉援助技術 1. ソーシャルワークと社会福祉援助技術 2. 直接援助技術・間接援助技術 3. 関連援助技術	講義	
12	高齢者の福祉施策		5. 終講試験	筆記試験／まとめ	
13	児童福祉と障害福祉		6. 履修上の留意点	1. テキストは常に持参「社会福祉」 2. 配付資料はすべて持参 3. 学習形態はその都度指示	
14	社会福祉援助技術		7. 評価方法	1) テキスト 2) 参考書 1) 健康支援と社会保障制度③社会福祉 メディカルフレンド社	
15	終講試験	渡辺	8. 評価方法	1. 筆記試験	

専門基礎分野	科目名：関係法規	横内 史泰	1 単位 15 時間 (3 年次前前期)
学習目標	医療に関する法律を学び、看護師に必要な法律を理解する。		
回数	主題	講師名	主な学習内容
1	法の概念 看護法		1. 法とは 2. 保健師助産師看護師法 3. 看護師等の人材確保の促進に関する法律
2	医事法		1. 医療法 2. 医療関係資格法 3. 保健医療福祉資格法 4. 医療を支える法律 1) 医療介護の提供体制に関する法 2) 移植医療に関する法 3) 地域振興における看護の役割に関する法 4) 人の死に関する法（死産届出、死体解剖保存法） 5) 緊急時の看護・医療に関する法
3	保健衛生法		1. 共通保健法 1) 地域保健法 2) 健康増進法 2. 分野別保健法 1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 2) 母子保健法、母体保護法 3) 学校保健安全法 4) がん対策基本法 5) 肝炎対策基本法 6) 自殺対策基本法 7) アルコール健康障害対策基本法 8) 難病の患者に対する医療等に関する法律 9) ハンセン病問題の解決の促進に関する法律 10) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律 11) 健康寿命の延伸等を図るためにの脳卒中、心臓病 その他の循環器病に係る対策に関する基本法 12) 歯科口腔保健の推進に関する法律 3. 感染症に関する法律 4. 食品に関する法律
4	薬務法		1. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 2. 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 3. 薬害被害者への救済 4. 麻薬・毒物に関する法律
	環境衛生法 環境法		1. 環境保全の基本法 2. 公害防止の法 3. 自然保護法
5	社会保険法 福祉法		1. 健康保険法 2. 国民健康保険法 3. 高齢者の医療の確保に関する法律 4. 介護保険法 5. 年金に関する法律（国民年金法、厚生年金保険法） 6. 手当（児童手当法、児童扶養手当法他）
6			
7	労働法と社会基盤整備		1. 労働基準法 2. 労働安全衛生法 3. 労働者災害補償保険法 4. 雇用保険法 5. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 6. 適正な労働の確保に関する法 7. 社会基盤整備など
8	終講試験		筆記試験
履修上の留意点		1. 常に持参のテキストは「看護関係法令」他は必要時指示 2. 配布資料は全て持参 3. 学習形態はその都度指示 4. これまでに学習した各概論や公衆衛生、薬理学などの内容を振り返りましょう	
1) テキスト 2) 参考書		1) 統一看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院 2) 看護者の基本的責務 2021年版	
評価方法		1. 筆記試験	